

## 第2回委員会資料での対応

項目	第1回委員会での主な意見内容	第2回委員会資料での対応
(1)新丸山ダム建設事業の概要	特になし。	-----
(2)丸山ダムの概要	特になし。	-----
(3)丸山ダムの健全性の検討項目	特になし。	-----
(4)丸山ダムの堤体状況	1)丸山ダム建設当時の基礎処理、断層処理、右岸崩落状況、洪水被災状況等について整理する。	第1章 丸山ダム堤体の状況の1.7 において整理した。
	2)過去のボーリングデータを元に基礎岩盤の地質、着岩面形状を整理する。	第3章 丸山ダム基礎岩盤の状況 において整理した。
	3)4BLの漏水経路調査結果は、想定した原因毎に詳細に整理する。	第1章 丸山ダム堤体の状況の1.1 において整理した。
	4)新丸山ダムの安全性に、4BL漏水の各想定原因がどのように影響するのか位置関係等を整理する。	第3章 丸山ダム基礎岩盤の状況の3.4 において整理した。
(5)モニタリング方針(案)	1)曖昧な表現は避け、可能な限り定量化を図る。	第2章 モニタリング方針(案) において整理した。
	2)漏水量は、一般的に、既往の値を超える場合に注意を要する。	第1章 丸山ダムの堤体状況、第2章 モニタリング方針(案)において整理した。
	3)一般的にダムの健全性は、漏水量、変位量を主たる計測項目とし、目視観察結果等も踏まえ総合的に判断する。	第1章 丸山ダムの堤体状況、第2章 モニタリング方針(案)において整理した。